



●瀬戸内海クルーズ推進会議アクションプラン（行動計画：令和元年策定）

①広域連携による戦略的な誘致活動の実施

■クルーズ船社への誘致活動に加え、クルーズ船社、ランドオペレーター等の招聘活動の実施。

※瀬戸内海を更に活かしたクルーズプラン構築や瀬戸内海沿岸の観光コンテンツをさらに把握したいと考えている社）を招聘。

※瀬戸内海クルーズ推進会議の構成員によるプレゼンを実施（併せて希望する社に対して現地視察を実施）。

②魅力的なクルーズプランの提案

■瀬戸内海クルーズ推進会議として連携した“おすすめクルーズプラン”の提案。

※クルーズプラン作成のためのチームづくりを実施。

※誘致活動などで得られたクルーズ船社の要望などを踏まえ、瀬戸内海クルーズプランを何パターンか作成。今後の誘致活動、シートレードなどで船社側に提案。

③戦略的な情報発信

■船社向けの瀬戸内海クルーズPR動画の作成・更新。

※まずは各自治体で保有している観光PR動画などを再編し、瀬戸内海クルーズ用に作成。

■瀬戸内海クルーズガイドの作成・更新。

■瀬戸内海クルーズ推進会議によるシートレードクルーズグローバルへの参加。

※瀬戸内海クルーズガイドとPR動画を活用したクルーズ船社へのアピール。

【これまでの取り組み】

■クルーズ船社等を招聘したセミナー、講演会の開催
・探検クルーズの紹介（船社：ポナン）
・アフターコロナ時代のクルーズ船受入（東武トップ）
・大阪関西万博を契機としたクルーズ船誘致（万博協会）
・MaaSの取り組みの紹介（JR西日本）
・ヨット型客船のコンセプトと寄港地の運営アイデア（両備HD） ほか

■クルーズ船社等への誘致活動及びFAMツアーの開催
・令和元年から7回の誘致活動（商談会）を実施。
・令和2年FAMツアーを開催。
・船社等とのパネルディスカッション。

■クルーズガイドブックの作成
・春夏秋冬クルーズ、探検クルーズプラン
・観光コンテンツ（世界遺産、国宝、グルメ、体験ほか）
・瀬戸内海の情報（航行規制、岸壁スペックほか）

■PR動画の作成
■クルーズ情報プラットフォーム
・外航クルーズ船社向けのクルーズ情報を提供。
■海外に向けた情報発信
・平成31年シートレードへの参加、令和5年パンフ掲載。

■令和5年新たな外航クルーズ船社（ポナン）の誘致及び新たな港への寄港が実現！

【目指すべき将来像】

広域連携による瀬戸内海クルーズのブランド力の向上（瀬戸内海クルーズ800隻時代を見据えて）

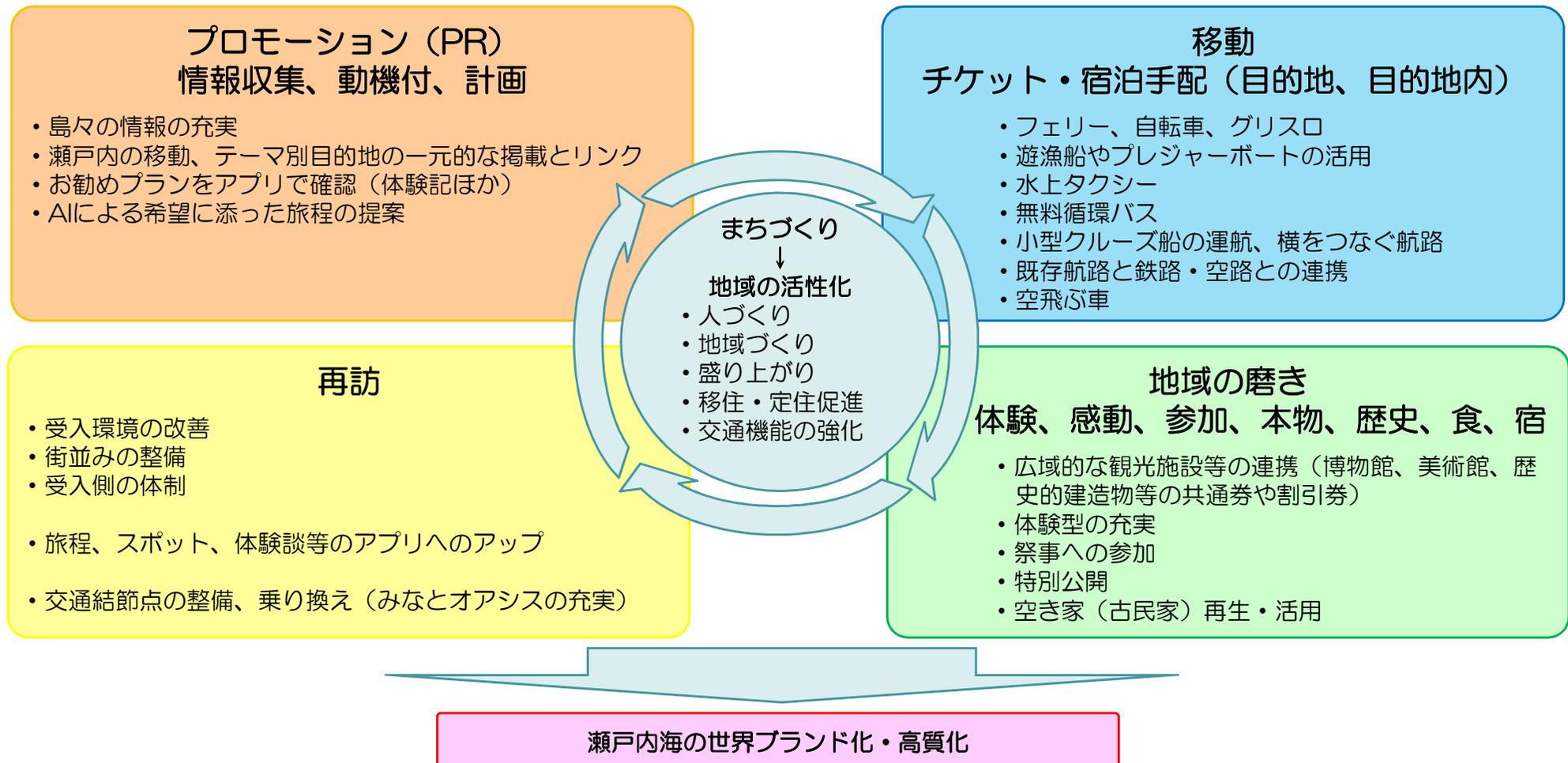


瀬戸内海クルーズ推進会議のこれまでの取り組みは、クルーズ客船に着目した誘致、ブランド力向上を実施。これを継承しつつ、2025年の大型イベント（万博、世界バラ会議等）での自由旅行者の誘客、情報発信、継続的な来訪に向けた取り組みを強化し、地域の活性化に繋がる好循環を生み出す必要がある。

<現状の整理>

- ・滞在時間が短く、宿泊が少ない。内陸自治体への波及効果が薄い。
- ・「エーゲ海」、「カリブ海」に負けない景観がありながら、地元の方々がその魅力に気づいていない（当たり前風景）。
- ・地元の生活、文化への訪問。→高品質（品位・本格）が求められる。
- ・瀬戸内海の振興に向けて、あらゆる団体が各種取り組みを行っているが、平行しての取り組みで交わりがない（縦割り）。
- ・コロナ禍で島々疲弊し観光業、漁業の活力が無くなり、旅客船業界に大きなダメージ。

<地域の活性化の仕組み作り：来訪者の視点>



【取り組み】

- 小型ラグジュアリー船・エクスペディション船にターゲット
- 効果的な商談会の実施
- 地域別・エリア別モデルコースの充実
- 航路網の充実とラインの見える化



クルーズネットワークの拡充

- クルーズ客船と地域を結び活性化を推進
- フェリー（定期・不定航路）、予備船等を活用した自由旅行者の誘客。
- プレジャーボートの活用

PR

地域の磨き

広域連携による瀬戸内海クルーズのブランド力の向上 ～世界とつながるせとうち SETOUCHI, connected with the world～

- プラットフォームの拡充（情報の充実）
- 地域別・エリア別でのコンテンツの造成
- 体験型参加の仕組み
（島を訪れる目的、きっかけ作り）
- 関係人口、活動人口の育成

地域の魅力向上

PR

地域の磨き

再訪



- キャッチフレーズ、ロゴ、〇〇ライン、情報の共有
- 高級ランチ・ディナーの提供（地元製品の活用促進）
- お手伝い（ミカン狩りなど）、釣り、セラピーほか
- 外国語の観光案内の充実、通訳、ガイドの育成

【取り組み】



【取り組み】

- みなとオアシスの機能強化
- 各種補助制度の充実
- みなとオアシスのイベント活動充実化による地域活性化



移動

地域の磨き

再訪

交通結節点の強化

- 駐車場（無料）の充実、トイレの高質化、乗換拠点の整備を充実させた地域の拠点作り。
- 地域の活性化に資する「みなとオアシス」を核としたまちづくりの推進。

ツールの活用

PR

移動

地域の磨き



- MaaSのモデル形成に向けた支援の充実
- AIを活用した希望に添った旅程の提案
- WiFi整備、キャッシュレス決済の導入

【取り組み】